

自分の感性を働かせ、経験をいかしながら表現に応じた方法を見つけだしていく子ども

— 小学3年「オリジナルペーパーづくり」の実践から —

1 単元のねらい

様々な画材や絵の具の表現方法を試した中で、オリジナルペーパーを作るためにはどのような方法が合っているかを考え、選択して表現することができる。

2 授業の構想

(1) 子どものとらえについて

青とみどりをまぜてみたら、セルリアンブルーの色になったのでびっくりしました。お店で売られている色ごとに分けられている色を使うよりも、自分でまぜて作った色の方がおもしろいということが分かりました。

中庭の絵をかく前に色づくりをする活動後に書かれた日記である。本学級の子どもたちは、1, 2年時では、パレットに出した色を思いつきで使うような姿がほとんどであった。3年生に近付くと「むらさきをつくるにはどうしたらいいかな」「赤と白をまぜたらピンクになるよ」といった混色への関心を示していた。そして3年生冒頭での取組を経て、上記の日記である。絵の具をその色のまま使うことが多かった子どもが、絵の具を混ぜる学習を通して、自分で色を作り出すことにおもしろさを感じ始めており、色に対する子どもの関心がより高まってきている。そして「明るい」や「きれい」といった、色とイメージを関連付けて考えるようになってきている。

一方では、表したいことや色の感じを漠然ととらえながらも言葉で言い表せない、意図した色づくりができない子どももいる。

このような子どもの実態をふまえ、本題材では、色づくりや組合せをくり返し試す活動を行うことで、表れた色の重なりやその組合せによる模様、色の感じやよさをとらえ、自分のイメージにつなげて作品に表す力を育てていきたい。

(2) 本題材の内容と図画工作・美術科で考える思考力・判断力・表現力の育成との関わりについて

本題材は、模様のある色紙のようなものをオリジナルペーパーと称し、製作する活動を行う。混色をして好みの色を見つけたり、道具を使いイメージに合った表し方を見付けたりと試行錯誤していく。そして、試した表現方法によって表れた模様などの形や色、さらには色や模様、画材の組み合わせなどの感じをとらえ、自分の考えるイメージにあった表現を選びオリジナルペーパーを作る。オリジナルペーパー製作は子どもの感じる「きれいだな」「かっこいいな」「〇〇みたい」といったイメージを手掛かりに、これまでの経験や本題材の中で積み重ねた経験から表現方法を選択して作品作りをしていくことがねらいである。

図画工作・美術科では、自分の知識や経験、試した結果から表現方法を選択したり、自分の考えや他者の評価から見直す中でさらによりよい追求の仕方を見出したりと自分の考えを広げ、深めていくことが思考力・判断力・表現力の育成につながると考える。

そこで、本題材では、特に画材と表現方法を繰り返し試すという活動を中心において授業を展開していく。理由として①画材による質感の違いや、色の組合せなどの表現方法についての経験を重ね、表現に向かう選択肢を増やす。②繰り返し試していく中で自分がとらえた表現の

イメージに近いものを見付け選び出す。③経験を基に技法などを取捨選択しながら作品表現を追求する。これらの3点がある。

図画工作・美術科では、繰り返し試し、取捨選択する機会を設けることで、発想や構想が広がったり深まったりし、造形表現の発展的な展開や習得した技能の活用が期待できる。そのため、②③をより充実したものになりたいと考え、試したことや感じたことを画像や文章で記録に残す活動を取り入れた。また、①では他者が試したもののよさを見合う機会も設けた。そうすることで、新たな表現方法を知ることや、自分の表現に取り入れられそうな部分を見付けることができる。

(3) 思考力・判断力・表現力の育成に関する学び合う場面の構想について

図画工作・美術では、製作活動を通じて常に思考・判断・表現を繰り返し行い作品づくりをおこなっている。そこで、それぞれの活動がより育成につながるように以下の点を意識して構想を立てていく。

① 共有する時間

学級全体や近くの友だちと、作品表現やそこに見られる技法などを見合うことで、新しい発想の手掛かりを得ることができる。また、自分の表現についても評価してもらうことで、表現のよさを再確認することができる。新たな発想や自分の取組のよさを生かして追求を深めていくことができる。

② 個人で振り返る時間

絵やスケッチ、文章で表したり、活動の過程を記録した画像を記録として残したりする。そうすることで、自分の造形表現の追求の様子や感じたこと、とらえたことを自覚する機会とする。言語化することで、造形表現の意味付けや活動の価値付けがなされ、自分の力として身に付くと考え。そして、その取組により、自分の追求したいことが明らかになり造形表現への意欲が高まり、自己実現を図ることができる考える。

③ 環境の整備

子どもの活動が自由に展開し、広がるように環境を整える。教師が子どもの取組をとらえて画材や素材などを吟味し十分に用意する。さらに、自分の取組や、友だちの取組をいつでも手にして見ることができる掲示や資料を整えておく。

加えて、より効果的な取組がおこなえるよう、子どもの表現追求への姿勢や、気付きなどをとらえ価値付けを行ったり、子どもの発言から考えの背景や根拠を掘り下げたりするなど全体や個々へのはたらきかけを行っていく。

次	主な学習	時	具体的な学習・内容（◇印は、学び合い）
1	ペーパーづくりに使えるような道具について自分が思うままに試す。	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーづくりにどんな道具が使えるか、1年生から今までの活動を振り返る。 用意した道具（絵の具、クーピー、たんぼ等）を使ってどんな模様や表現ができるか試してみる。
2	自分が試したことや友だちの方法を基に、作りたいものをイメージして試しに作ってみる。	3 4 5 6	<ul style="list-style-type: none"> 前回の取組をワークシートや全体で振り返る。 ふりかえりを基に挑戦したいことを考えて試す。 ◇友だちの技法の紹介を聞いたり、作っているところを見たりしながら、自分も試してみたり、自分ならどうするか考えて試す。 作りたいオリジナルペーパーのイメージをもちながら、表現方法を考えて試す。
3	これまでの学習をもとにして、オリジナルペーパーになるよう、表現方法を選択して作る。	7 8 9	<ul style="list-style-type: none"> これまで試してきたこと、考えたことを基にしてオリジナルペーパーを作る。
4	お互いのペーパーのよさを見付ける	10	<ul style="list-style-type: none"> これまで作ってきたオリジナルペーパーを見合い、表現の違いや、よさを見付ける。 見付けたよさを言葉で表現する。

4 授業の実際

(1) 素材・画材との出会い

表現方法は、子どもの自由に試せる活動の中で出てくることにまかせるため、最初に、表現方法を考え、選択につながるように画材や素材との出会いの場面を設定した。

1年生や、2年生での、画材体験や表現体験の活動を振り返る中で表したいものに適した道具として以下のものが子どもから挙げられた。

学習や普段の生活から出てきたもの	3年までの図工授業から出てきたもの	その他
鉛筆・絵の具・クーピー・クレヨン	たんぼ（てるてるぼうず）・スポンジ ローラー・スタンプ	折り紙・千代紙

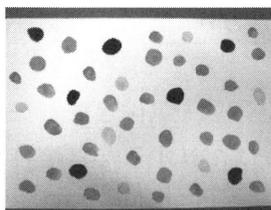
身近な鉛筆やクーピーなどをはじめとして、他にたんぼやスポンジなどが挙がってきた。たんぼやスポンジは1年・2年の図工で使ったものである。道具の名前を出しただけでなく、「雪をかくときにポンポンして…」「6年生を送る会の飾り作りで…」「絵の具をつけてスタンプみたいに」といった言葉に挙げられるように、扱いについて具体的な発言をしている。これまでの経験から表現方法を判断し選択することができている。

第1次2時間目は、児童が選んだ道具を用いて、思い付くままに方法を試すようにした。その中から、模様や形、色の組合せについて「おもしろい」や「きれい」と感じる表現を見つけることとした。

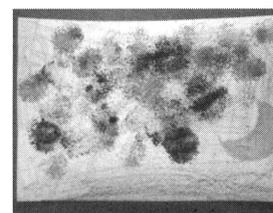
今日、オリジナルペーパー作りをして、たんぼとローラーをたくさん使いました。気付いたことがいっぱいあって、クーピーの上に絵のぐをぬるととてもきれいにできました。(児童A)

1まいペーパーができて、少しくらい色だったので、もう少し明るい色を作りたいです。(児童B)

児童Aはクーピーを濃くぬってその上から絵の具を乗せている。絵の具がはじかれたことに気付き、それをきれいだなと感じ取る姿があった。児童Bは5色作り、筆を用いて色を付けている。暗いと感じて次は明るくしようと、次への取り組む意欲が見えている。児童Aのように偶然見つけた技法の効果について気付いていた



児童Bの試し



児童Aの試し

り、児童Bのように色の印象に気付いていたりしている。多くの子どもたちが次回の取組に対しての手掛かりを見出すことができた。

(2) 表現方法の広がり

第2次3、4時間目では、より多くの技法に挑戦したり、道具を使ったりするなど、子どもの経験や知識を増やすことを目的として設定した。ただ、試すだけでなく、どのようにして作ったのか言語化することで、技法について意識させたり、最終的にはどのようなペーパーにしたいのかを子どもに問いかけることでイメージしたりできるようにした。また、全体で見合うことで、自分の経験だけでなく、友だちの考えや表現を見聞きすることで、他者の経験も自分のものにできるように意識した。

自分が作ったものを振り返るための手立てとして、ワークシートに写真を貼り、気付いたことや感じたことを言葉でまとめるようにした。このように言語化することで、自分の色や模様に対する感じ方が意識できた。そうすることで自分表したいことがはっきりすると考えたからである。

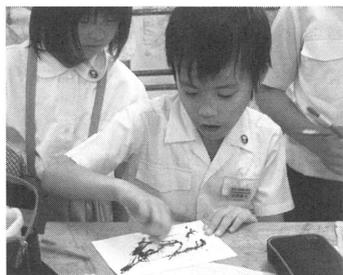
次に学級全体で、前回試したものを見合う時間をとり、一枚一枚を見てどんな感じがするか
の意見を出し合った。子どもの行った分類としては、カラフルかシンプル、何を使っているか
ということでペーパーを分けていた。「クーピーが使ってある」「全体がみどり」といった事実
についてのコメントや「これデザインがいい」「きれい」のような友だちの試しを見てどのよ
うに感じたかを発言した子どももいた。「黄色を使って、みどりも使ってみたいな」と次はど
うしたいかを考え始めている発言も出てきた。全体で、友だちが試した表現方法を見たこと
で、色への感じを言語化することにつながり、イメージがもてなった子どもにも次に考えるた
めのきっかけになった。

子どもの取組が広がる環境設定として、スタンプとして使えそうなもの（段ボール・ネット・
梱包材）やその他（歯ブラシ・ストロー）を用意した。子どもの気持ちから用具に対する動き
が出てくると考え、子どもがやってみたくと思った時に使えるようにした。

結果として、前回に比べ、色の選び方や道具の使い方に広がりが出てきた。段ボールやスト
ローを手にとってスタンプしたり、絵の具をつけて線をひいたり、といった新たな方法
を見付け出そうとする取組が見られた。他にも「クーピーをけっこうこくぬってから、えのぐを
ぬるとはじいたので、こんどからは、クーピーの上からえのぐをぬるときはうすくぬりたいで
す。」や「たんぼだけでもちがう色を使うとかわった感じになる。」といったふりかえりも見ら
れた。これまで使っていた道具の中からたんぼを選び、色を変えながら試してみるなど、前回
の試しをいかし新しい表現になるよう試みる姿もあり、子どもが表現方法に対して思考し、判
断していることが分かる。

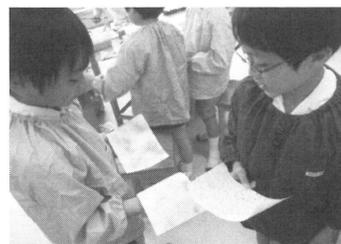
さらに、「きみどりと黄色を合わせてみたら、春らしくなりました。」「みずみずしくなった。」
等、ふりかえりを見ると色に対するイメージがもてるようになっており、色の重なりや模様か
ら感じ取っているものが増えている。

第2次5、6時間目ははじめに全体で集まり、自分の方法を紹介する時間を用意した。ここ
での見合う場は、よりオリジナルペーパーを意識し表現方法を選ぶことができるための学び合
う時間のきっかけとして設定した。これまでの経験や友だちの取組を知ったり、他者の意見
を知ることで自分の考えを広げたり、自分の考えを深め、自分なりの表現を見付けていけるこ
とを意図している。見合う時間を通して「きれい」や「すてき」「明るい感じ」といったイメ
ージに近付けていくために、自分が試しておきたいことは何かを考え、活動へ移った。



これは、こうやって・・・

前時までをふまえ、新たな方法に挑戦する姿もあれば、よりよ
いと感じる方法をさらに試すという姿も見られた。新たな技法に
ついては、「おもしろいね。Cくんがおもしろいこと（絵の具を
直接紙に出して線をかいている）してるよ。」と教師が全体に紹
介することを行った。このようなはたらきかけを行うことで、周
囲の子どもたちが判断し、自分の表現に取り入れようとする姿も
見られた。



ふわっとした感じ ほんわかしてる

こういった活動を意図的に繰り返す中で子どもが自発的に表し方を見比べたり、紹介し合っ

たりして自分の表現に取り入れようと表現方法を追求する姿も出てきた。子どもがそれぞれに感じたイメージを言葉にして伝えたり、考えたことを試したりしていることから、表現力をはじめ、そこに至るまでの思考力・判断力も高まってきていることが分かる。よって学び合う場が有効だったといえる。

(3) 経験をもとにした目的にあった方法の選択

第3次では、テーマを決め、これまでに試してきたことを基に、自分の作りたいオリジナルペーパーを追求する活動を行った。自分のイメージに近付けるには、どのような表現方法を選べばよいか、どんな色を使えばよいかを考えてオリジナルペーパーを作る活動をする。

オリジナルペーパーを作るに当たり、子どもの中に生まれた、色や模様などに対する感じを「みずみずしく」「あかあるくふわふわな感じ」「ながれる感じ、すずしい感じ」といった言葉にした。言葉にしたことをテーマとして製作に取り組むことにした。

子どもたちは、色や色の重なりといった表現に対して自分なりのイメージをもっていることが分かる。そして、技法や色など、どういった表現方法を使えばイメージにあったものになるか判断し表現している姿も見られた。

これまでの試しの中で、児童Eはちょっとした水分量の違いで雰囲気が変わること、変えられることに取組の中で気が付いている。最後のオリジナルペーパーでは自分が作りたい「みずみずしいかんじ」を出すために水分量の違いという気づきを生かしている。(写真1, 2, 3),

他の子どもは、暑い感じを出すために赤色やオレンジ色を用いるなど色の感じを生かしてペーパーづくりをしている。さらには、友だちの方法を取り入れてみたり、そこから変化させて自分なりの表現にしたりしてオリジナルペーパーに使っている姿も見られた。

このような子どもたちの姿から、経験の中からイメージに合わせて表現を選ぶ力や、選んだ方法を使って表現する力が付いてきているといえよう。それを支えていたのが、繰り返し試すということであった。

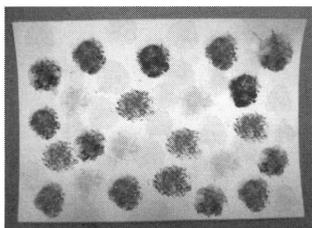


写真1 (児童Eの試し)

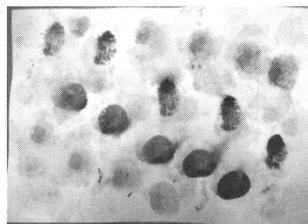


写真2 (気づきが生まれるきっかけになった友だちの試し)

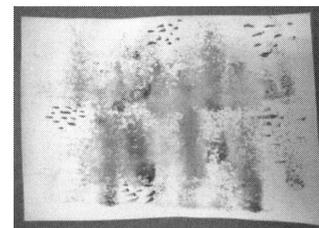


写真3 (児童Eのオリジナルペーパー)

(4) オリジナルペーパー展覧会

第4次では、お互いの作ったペーパーを見る時間とした。以下は、その後の子どもたちの感想である。

うすむらさきなどのやさしい色で人の心をゆったりさせるかんじだった。(児童F)
あめみたいで、みずみずしいかんじが出て、すずしいかんじ。(児童G)
パチパチのアイスみたいでかわいいし、ピンクのはでな色と青のじみな色がまざって、バランスがいい!! (児童G)
さいしょに、こゆーくぬって、水をつけて少しこすって、こすったところがうすくなってきれいだった。みんなきれいにぬるんじゃなくて、わざと水とえのぐをまぜてふでにつけて、ぬったりしていたのがすごかったなと思います。(児童H)

感想から分かるように、友だちのオリジナルペーパーを見て、色についてや表現方法について多くの気づきをしている。児童Fや児童Gは色は色自体や、色の重なり注目し、感じた印

象を言葉で表している。児童Hは表現方法に目を向け、表現方法自体にも関心をもっているのが分かる。

さらに、これまでの試作品も合わせて並べたところ、一つ一つ見る時には気付かなかった、色へのこだわりを周りの子どもも見ることができた。



作品を見合う様子2

気付きや関心をもつにとどまらず、「ゆったり」「アイスみたいでかわいい」といった、自分で感じたイメージを言葉で表現できている。

子どもの色や表現への関心の高まりと共に、思いを言語化するという表現力も付いてきているといえる。



作品を見合う様子1

5 成果と課題

本題材は、表現方法を繰り返し試すという活動を通して、一人一人の子どもの「きれい」や「すてき」といった感じ方を大切にしながら、オリジナルペーパーを製作した。

この活動の中で、子どもが積極的に色づくりや、表現方法を試す姿が見られた。そして、次のような姿も見られた。一つ目は、自分や他者が行った表現方法によって表れた模様などの形や色、色や模様、画材の組み合わせなどの感じをとらえる姿である。二つ目にこれまでの経験や本題材の中で積み重ねた経験から表現方法を選択して作品作りをしていく姿であり、三つ目に、活動の中での発見を基にイメージをもち、作品へとつなげ、追求して取り組む姿が見られた。



活動の合間に、子どもの発言や選択に対して、根拠を聞くなどの背景の掘り下げるはたらきかけを行った。意図を明らかにしていくことで自らの学びが自覚され、生活体験や学習体験を発展的にいかすことにつながった。加えて、取組や表現を価値付けることで、子どもの表現方法の追求に対する意欲も高まり、前述した子どもの姿が現れた。



効であったと考える。

よって本題材での取組は、感じたことを大切にしながら、自分の知識や経験、試した結果から表現方法を感じたことに応じて選択すること、自分の考えや他者の評価から見直す中でさらによりよい追求の仕方を見出すこと、そして自分の考えを広げ、深めていくよりよい成果を求めることの3点において有効であった。また、意図的に作りたい色を表現したいイメージと結びつけて、色を作る力を高めていくためにも有効であったと考える。

今後は、より有効的なワークシートの活用と共有の時間について検討していかななくてはならないことが課題である。言語化することで、造形表現が自分のものとして身に付くことにつながられ、自分の表現を追求していく上でこの言語の蓄積は重要になってくる。ワークシートの在り方や記述の仕方、時間の取り方を考えていく必要がある。共有の時間についても、題材の内容や、児童の取り組む姿を見ながら、どのタイミングでどのくらい行うかを見極めていきたい。

(文責 矢野 美穂子)